

EA グラフィック・ツール 2022

アメダス観測地点検索ツール

“StnFind”

ユーザーズ・マニュアル

(株) 気象データシステム

2022 年 5 月

拡張アメダス気象データ グラフィック・ツール 2022 (EA Graphic Tools 2022) のダウンロード・ファイルに含まれるプログラム類の利用にあたって

1. 著作権・使用許諾について

ダウンロード・ファイルに収録された PDF 書類に、著作権と使用許諾に関する誓約・契約内容が記載されていますので、ご一読ください。その内容に同意する場合に限り、本書で解説するプログラム類を使用できます。なお、ダウンロード・ファイルに収録されたインストーラーを最後まで適用した時点で、上述の PDF 書類の内容に同意したものと見なします。

2. その他

本著作権物を利用して得られた成果物を公表する場合は、研究用・商用を問わず、拡張アメダス気象データおよび関連プログラム類を使用した旨を成果物の中に明記してください。

なお、本書では「拡張アメダス気象データ」を「EA 気象データ」と略記することがあります。

拡張アメダス気象データのホーム・ページについて

拡張アメダス気象データやその関連プログラムなどに関する情報については、以下の URL に示す弊社のホーム・ページもあわせてご覧ください。

<https://www.metds.co.jp/>

お問い合わせについて

拡張アメダス気象データおよびその関連プログラムに関するお問い合わせは、上記 URL のホーム・ページの「お問い合わせフォーム」からお願いいたします。(電話、FAX などでのお問い合わせは受け付けておりません。)

その他

T_EX は American Mathmistical Society の商標です。

WINDOWS[®] は、Microsoft Corporation の登録商標です。

その他、本マニュアルの本文中に記載されている会社名、製品名などは、一般に、関係各社／団体の商標または登録商標です。本文中では、[®]、[©]、TM などのマークは特に明記していません。

本書の版下は著者自身が日本語 L^AT_EX 2_ε(pL^AT_EX 2_ε) で組版したものです。またクラスファイルは、奥村晴彦 著「L^AT_EX 2_ε 美文書作成入門」(技術評論社) のものを使用しました。

目次

1	StnFind の概要	1
1.1	StnFind とは？	1
1.2	StnFind の機能	1
2	StnFind の使い方	2
2.1	メニューの操作	2
2.2	スピード・ボタンの操作	3
2.3	観測地点マップ・ダイアログ・ウィンドウ	4
2.4	オプション・ダイアログ・ウィンドウ	4
3	その他の注意事項	5
	参考・引用文献	5
	索引	5

1 StnFind の概要

1.1 StnFind とは？

StnFind (Station Finder) は、EA.SetEnv2022 として供給されるプログラム類の中では、付録的なツール・プログラムです。このプログラムは単体で動作するもので完結しており、まさにオマケのプログラムです。しかしながら、本プログラムの著作権は開発者と MetDS が保持しており、ユーザーは StnFind (StnFind.exe) を再配布することはできません。

1.2 StnFind の機能

StnFind は、ユーザーが選択したアメダス観測地点について、以下の情報を表示することを唯一の機能としています。

- 観測年（同一地点の以下の情報は常に同じではありません）
- 名称（漢字）、読み（カタカナ、ローマ字）
- 緯度、経度、標高
- 風速を換算した高さ（実際の風速計設置高さとは異なります）
- 所在都道府県、支庁あるいは（総合）振興局（北海道の場合）
- ファイルにデータが収録されている期間（先頭の年月日、末尾の年月日）
- ファイルにおける地点番号（ID 番号）
- ファイルにおける整理用地点番号（レコード・ブロック番号）

例えば、設計対象敷地の最寄りのアメダス観測地点を調べるなど、検索ツールとしてお使いください。検索結果は図 1 が示すように、メイン・ウィンドウにテキスト表示され、その文字列はクリップボードにコピーすることができますから、メモを採るなどの手間も軽減できます。

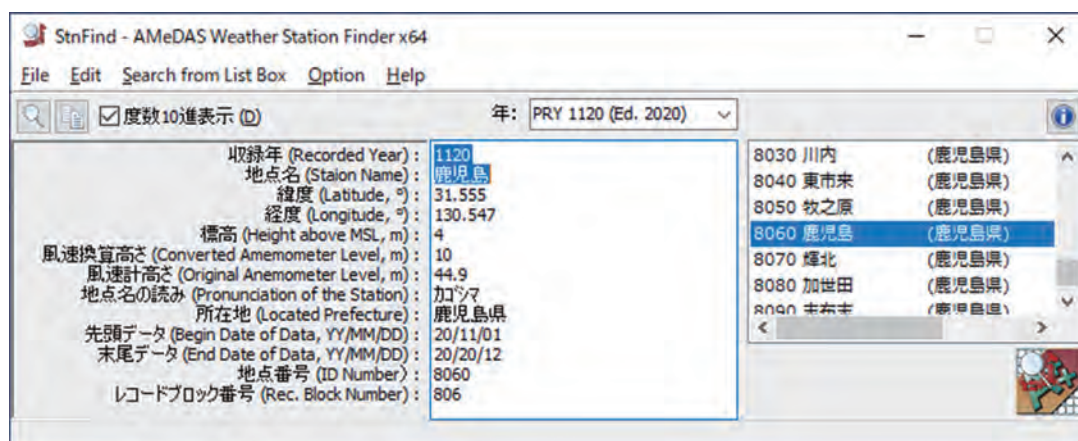


図 1 StnFind のメイン・ウィンドウ

2 StnFind の使い方

このプログラムには単純な機能しかありませんので、使い方は直感的にご理解いただけるものと思います。そこで、以下では、メニューとスピード・ボタン（図 2 参照）について解説します。

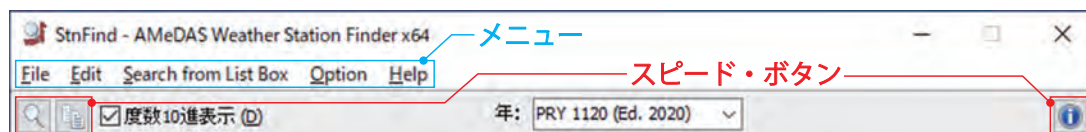



図 2 StnFind のメニューとスピード・ボタン

2.1 メニューの操作


● File メニュー（図 3 (a) 参照）

サブ・メニューが二つあります。[File | Env. Set... Alt+S] は、一連のグラフィック・ツール・プログラム類に共通して備わったメニューで、これらのツール類の動作環境を設定するためのプログラム EA.SetEnv2022 を呼び出します。その使い方については、別途マニュアル [1] を参照してください。

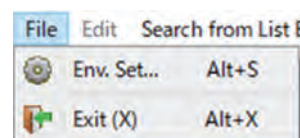
また、[File | Exit (X) Alt+X] サブ・メニューは、これを選択すると StnFind を終了できます。終了方法には、この他にプログラム・アイコンをダブル・クリックする方法やシステム・アイコン  をクリックする方法もあります。

● Edit メニュー（図 3 (b) 参照）

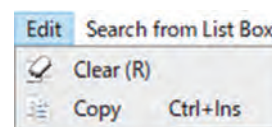
以下に説明する 2 つのサブメニューは、後述の Search メニューでアメダス観測地点を選択して、検索結果がメイン・ウィンドウのスクロール・テキスト・ボックスに表示されている場合にアクティブになります。[Edit | Clear (R)] サブ・メニューは、メイン・ウィンドウに表示された検索結果（文字）を消去します。

[Edit | Copy Ctrl+Ins] サブメニューは、メイン・ウィンドウに表示された検索結果の文字列を選択（ハイライト状態）している場合に、選択可能になります。文字列の選択内容をクリップボードにコピーします。スピード・ボタン  は、このメニューと同じ機能を持ちます。

(a) [File] メニュー



(b) [Edit] メニュー



(c) [Search] メニュー



図 3 StnFind のメニュー (1/2)

- Search メニュー（図 3 (c) 参照）

地域別のメニュー階層の下に県（支庁，振興局）のサブメニューが現れるように構成されています。このメニューから県（支庁，振興局）を選ぶと，その県（支庁，振興局）の観測点マップ（ダイアログ）が現れ，検索する観測点を限定して表示できます。

- Option メニュー（図 3 (d) 参照）

起動時のメイン・ウィンドウの位置など，StnFind の動作状態を制御するメニューで，レジストリーが操作されます。

[Option | Starting Options...]サブ・メニューは，次回に起動させるときの状態を細く制御するためのオプション・（サブ・ダイアログ・）ウィンドウを表示します。

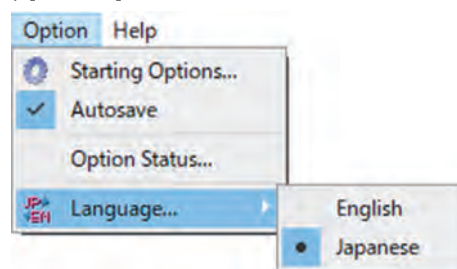
[Option | Autosave]サブ・メニューは，ラジオ・ボタンがトグルするスイッチ・メニューです。図 3 (d) のようにラジオ・ボタンをつけると，①終了時のウィンドウ位置，②最後に検索した地点の情報，③緯度，経度表示の方法（60 進数/10 進数）④ EA.Tools.dll^{注1}のあるフォルダーの場所（パス）が保存されます。

[Option | Language...]サブ・メニューは，ウィンドウ表記に用いる言語（英語・日本語）を切り替えます。このメニューは日本語版 WINDOWS® のみに有効です。日本語版以外では，ウィンドウ表記に用いる言語は英語に限定されます。

- Help メニュー（図 3 (e) 参照）

[Help | Browse the Usage...]サブ・メニューは，デフォルトの HTML ブラウザーを用いて，弊社のホーム・ページを表示します。また，[Help | Version Info. (A)...]サブメニューは，定番のプログラム情報表示ダイアログを表示します。

(d) [Option] メニュー



(e) [Help] メニュー

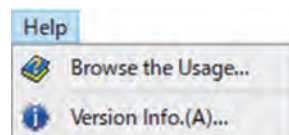


図 3 StnFind のメニュー (2/2)

2.2 スピード・ボタンの操作

以下の 3 種類がメイン・ウィンドウに配置されています。

- 検索スピード・ボタン 観測地点マップ（ダイアログ）ウィンドウ（図 4）を表示します。
- コピー・スピード・ボタン 検索結果の文字列をハイライト表示した場合に，選択可能となります。ハイライト表示した文字列をクリップボードにコピーします。この機能は，[Edit | Copy Ctrl+Ins]のメニュー操作と同じです。
- 情報スピード；ボタン ヴァージョン情報ダイアログを表示します。この機能は，[Help | Version Info. (A)...]のメニュー操作と同じです。

^{注1} StnFind の正常な動作に欠かせない動的リンク・ライブラリー・ファイルです。フォルダーの場所は，オプションのサブ・ウィンドウを介して指定できますが，インストールされたデフォルトのままでの使用を推奨します。

2.3 観測地点マップ・ダイアログ・ウィンドウ

これは、図 4 のようなサブ・ウィンドウです。

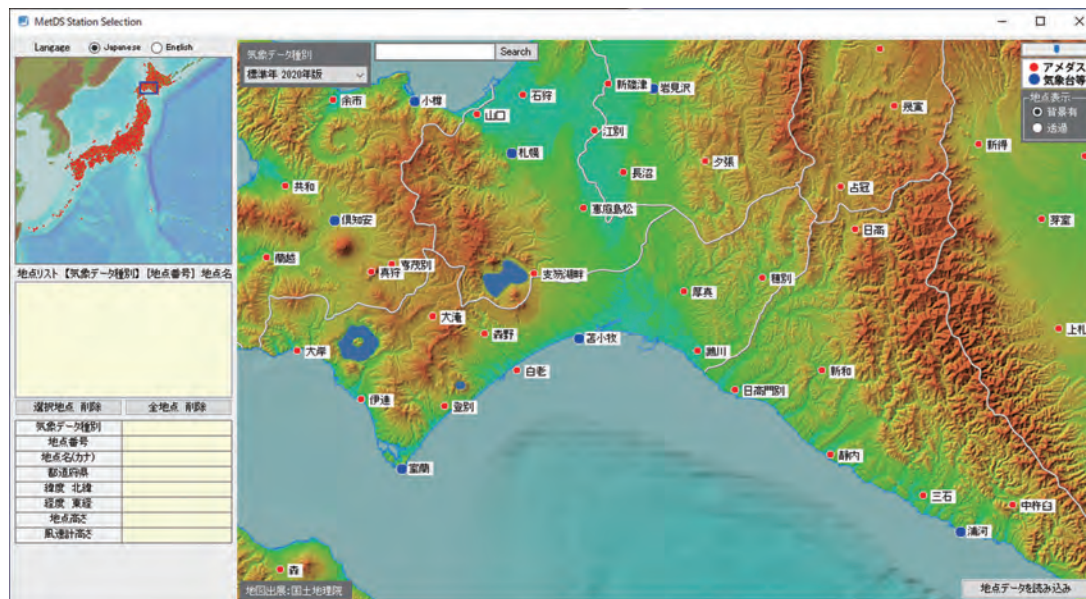


図 4 StnFind の観測地点マップ・ダイアログ・ウィンドウ

地図中のラベルや●印をクリックするとその観測点が選択されたことになります。このウィンドウでは、複数の観測地点を選択することができますが、StnFind は最後に選択された地点だけを入力値とみなします。

アメダス観測地点は年によって廃止や新設・移転、名称変更などの変化があります。そのため、図 4 には、検索対象年を選択するドロップ・ダウン・リスト・ボックスが設けてあり、自在に変更することができますが、StnFind でこのウィンドウを使う限り、そうした操作はこのウィンドウでは、すべきではありません。

図 1 や図 2 に示されているように、StnFind 本体側にそうした選択機能が設けられており、これを使用してください。

2.4 オプション・ダイアログ・ウィンドウ

これは、図 5 のようなダイアログ・ウィンドウのことです。起動時の状態設定や、(めったに操作する必要はありませんが) EA.Tools.dll のパスを変更する場合に使います。下中央のボタンでデフォルトに戻すことができます。左下のボタンをクリックすると、レジストリーに情報を書き込んでから、直ちに終了しますのでご注意ください。

各種のオプション設定の現況は、[Option | Option Status...]メニューから起動する、図 6 のウィンドウで確認することができます。

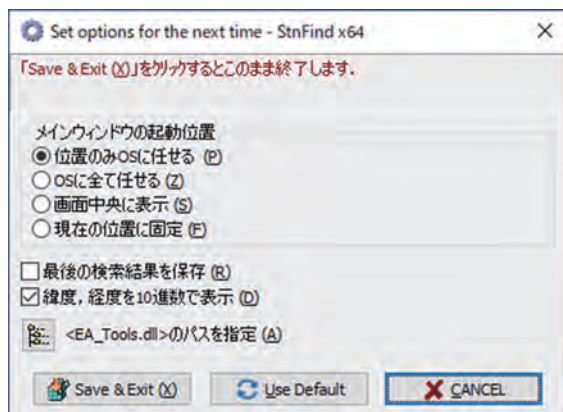


図 5 StnFind のオプション設定ダイアログ・ウィンドウ

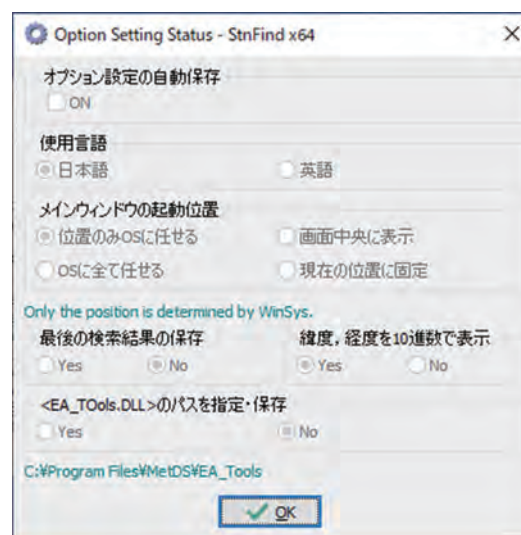


図 6 StnFind のオプション確認ダイアログ・ウィンドウ

3 その他の注意事項

このプログラムは、最初の起動時に自動的にレジストリーを作成し、それ以降、レジストリーを読み書きします。したがって、StnFind.exe を削除すると、不要なレジストリー・エントリーが残ってしまいます。その場合は、以下に示すレジストリー・エントリーのみをレジストリー・エディターを用いて手動で削除してください。

HKEY_CURRENT_USER\Software\MetDS\EA_Tools\StnFind

“MetDS\EA_Tools” 自体やその配下の “DllPath” は絶対に削除しないでください。StnFind の動作には、“DllPath” で指定されたフォルダーに EA_Tools.dll が存在することが必要です。

参考・引用文献

- [1] MetDS: EA グラフィック・ツール 2022 ジェネラル・ユーザーズ・マニュアル兼環境設定プログラム EA_SetEnv2022 マニュアル, 株式会社 気象データシステム（鹿児島, eブック）, 2022 年 5 月。

索引

Dll
EA_Tools.dll, 3-5
DllPath, 5

StnFind, 1

機能, 1

クリップボード, 2, 3
スピード・ボタン, 3
ダイアログ・ウィンドウ
オプション・—, 3, 4
観測地点マップ・—, 3, 4
メニュー, 2
レジストリー, 3, 5

EA グラフィック・ツール 2022
アメダス観測地点検索ツール
“StnFind”
ユーザーズ・マニュアル

2022 年 5 月 31 日 第 1 版第 1 刷

© 2022, Meteorological Data System
Co. Ltd. All Rights Reserved.

編集・著作 株式会社 気象データシステム
印刷・発行 株式会社 気象データシステム
〒890-0051 鹿児島県鹿児島市高麗町 10-19-1105
URL <https://www.metds.co.jp/>
